

杉一の議会報告

100年後の市民が「住んで良かった」と思えるまちづくり



新しい市立伊丹病院の開院に向けて 基本設計書が出来上がりました

新・市立伊丹病院の配置計画図と動線計画図



- 西側県道に病院に入る車両が滞留することを避けるため、県道出入口から駐車場ゲートまで一定の距離を確保し、満車時でも車両が病院敷地内で滞留できるスペースを確保します。

- 救急車両出入口は、病院利用者車両出入口と南側国道側出入口を設ける計画として、西棟西側の救急車両寄せに最短で停車可能なスペースを確保します。

- 物品搬入などの病院関係者車両出入口は南側国道に設けて、病院利用者と動線が交錯しないように計画します。

- 敷地内にタクシープールを設けるとともに、バス停留場設置ができる計画とします。また、送迎の病院利用者が雨天時も雨に濡れずに乗降できるように庇を設置します。

- 立体駐車場から東棟、西棟まで、屋根付き歩道を設けることで、雨に濡れることなく、安全な歩行者動線を設けます。

- 病院利用者用駐車場を平面駐車場に300台確保します。(現市立病院は160台)。立体駐車場は病院関係者駐車場として整備します。

新・市立伊丹病院の基本方針

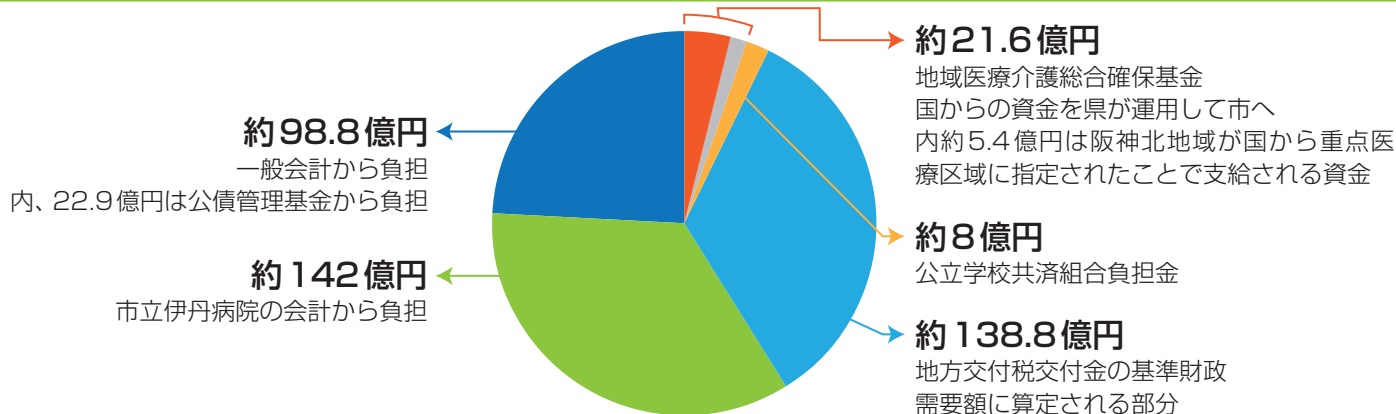
感染症への対応

新型コロナウイルス感染症等に対応可能な施設として、救急・外来からの手術、集中治療室そして感染症対応病室まで感染拡大期の使用エリアを想定した切れ目のない陰圧管理を設定します。

医療ニーズの変化への対応

将来の医療技術の進展等にも対応できるよう自由度の高い大スパン構造を採用します。外来、検査、事務部門等での医療ニーズの変化による間仕切りの変更や機器のレイアウト変更に対し、柔軟に対応できるつくりとなります。

新・市立伊丹病院の総事業費内訳



基本設計時点での総事業費は約409.2億円

- この事業費には、建設費用の他に医療関係を含めた機器の費用も含まれています。
- 建設関係の費用は30年償還の起債を行います。総事業費に元利償還金を含めると437.4億円となる見込みです。
- 上記の費用を建設時に一括支払いするわけではありませんので、財政負担は毎年度に平準化されることとなります。
- 市立伊丹病院の負担が142億円と巨額に見えますが、新病院設立により高度な医療を提供できることで経営改善が図られ、毎年度の新病院への負担金額を支払った上でも黒字化できる試算となっております。また、その試算は、同規模病院である加古川中央市民病院の現在の経営状況等を基に試算しているため、空想上の試算をしておりません。



新・市立伊丹病院のことで質問のある方は杉まで遠慮なくお申し付けください。

新しい市立病院が建つという話は聞くけれど、私たちの医療環境はどうなるの？市の財政は将来的にも大丈夫なの？通う利便性はどうか？などのご質問もあろうかと思えます。この紙面だけでは伝えきれないと考えています。ぜひ、杉までお問い合わせください。対面での説明の他にZOOMでも説明いたします。

令和3年3月26日に市立伊丹病院検討特別委員会が開催され、この場での資料と質疑応答を基に作成しました。

杉（すぎはじめ）プロフィール

昭和55年4月18日生まれ
昭和62年 白ゆり幼稚園卒園
昭和62年 荻野小学校入学
平成5年 花里小学校卒業
平成8年 松崎中学校卒業
平成11年 伊丹西高校卒業

平成15年 神戸学院大学法学部卒業
平成15年 尼崎信用金庫入庫
平成18年 尼崎信用金庫退職
平成19年 伊丹市議会議員選挙当選
平成23年・27年・31年当選

文教福祉常任委員会委員
総合計画検討特別委員会委員長

お問合せはこちら

TEL：090-1136-3129
FAX：072-783-7751
メールアドレス：itami@sugi-hajime.net
ホームページ：http://sugi-hajime.net

